



MASUZAWA
GIKEN
株式会社増澤技研

増澤技研排水処理システム

小さなスペースで大きな処理能力

工場に最適な排水処理ソリューション

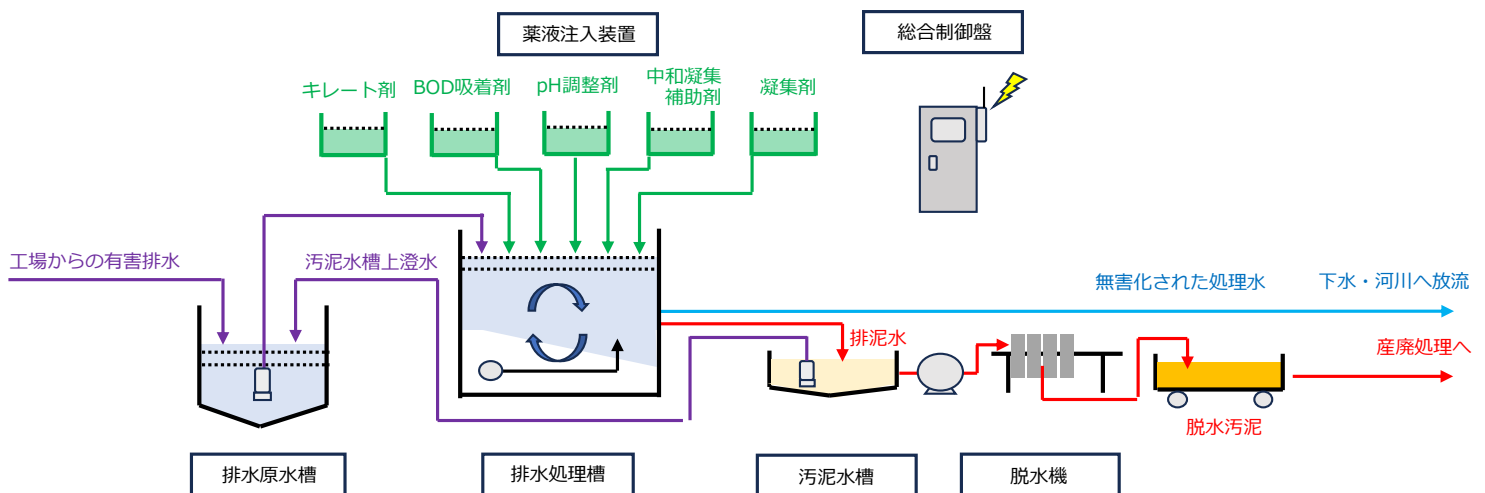
排水処理設備の現状

- 一般的な排水処理システムは、薬品を反応させる為の「反応槽」、pHを中和させる為の「pH調整槽」、排水中の汚泥を凝集させる「凝集槽」、凝集させたスラッジを沈殿させる「沈殿槽」など単機能の槽が複数必要となります
- 複数の槽とそれぞれに攪拌機やポンプ、水位計等も必要なので構成部品点数が多くなります
- 各槽毎の攪拌機や送水用ポンプの使用で、使用電力量が多くなります
- 排水量によっては各槽共相当量の大きさとなり、多大な設置スペースが必要となります

増澤技研排水処理システム

- 増澤技研方式では反応・pH調整、凝集、沈殿の全ての工程を一槽で完結することを可能としました
- 単独槽で完結している為に部品点数が少なく、故障頻度と部品交換の頻度が低くコストダウンにつながります
- 単独槽運転の為、攪拌機・ポンプ等電気使用機器が限られている為、電気使用量削減も図れます
- 一般的な排水処理システムと比較して3分の1～4分の1の設置スペースで設置可
余計なスペースをとりません

増澤技研排水処理システムの基本システム構成

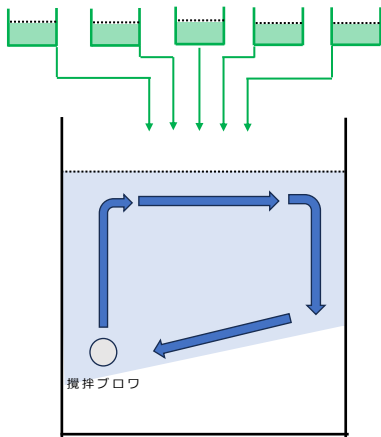


増澤技研排水処理システムの特長

- 高性能・・・高い処理能力で幅広い対象の有害物質除去を実現します
- 省スペース・・・場内の限られたスペースでも設置可能
- コスト削減・・・メンテナンス費用と電気代の削減を実現
- 低環境負荷・・・排水処理量あたりの電気使用量削減で環境負荷を低減

増澤技研排水処理システムの仕組み

キレート剤 塩化第二鉄剤 pH調整剤 高分子凝集剤 粉末活性炭



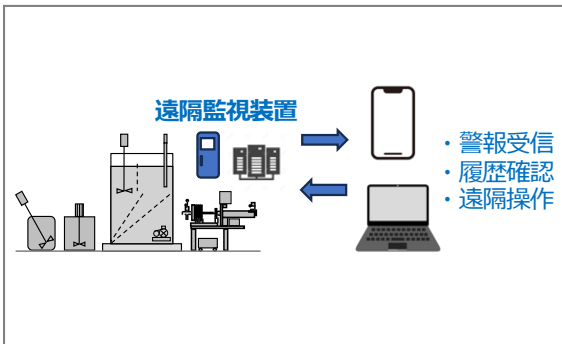
【特殊形状で処理プロセス・薬品反応の迅速化】

- 増澤技研排水処理システムは円筒形直立方式、底部は円筒軸に対して30度の傾斜を設けています
- 傾斜状に設計した処理槽内部の最深部より空気・自液（槽内汚液）を上方へ噴射させると、上昇流、下降流、渦流など複雑な流体運動が死角のない槽内で同時に発生します
- 相乗効果として、深部では急速攪拌に、浅部では緩速攪拌が発生し、それぞれの攪拌作用が連続して繰り返されます
- 薬液はこの複雑な運動を行なっている液体中に注入される為、スピーディかつ均質に槽内各部に拡散され、速やかに反応を完了させます
- 迅速な薬品反応により、単独槽での多工程処理を実現しました

全自動運転と遠隔監視システムで設備管理を省力化



- 処理槽のpH値設定で自動的に各薬液の注入量を制御
- 随時移り変わるpH値に連動して、pH調整剤、無機凝集剤の注入量を調整
- 薬液毎に注入時間と攪拌実施時間の設定可
- 各水槽の満水警報の遅延時間設定、バルブ類の開閉遅延設定など運転状況に応じた詳細設定が可能
- 設定時間に対する現在経過時間も一目で確認



- 警報は、発生日時と内容をタッチパネル画面に表示
- 警報発生履歴が記録されるので、原因特定と対策の情報として活用ができる
- 警報は、遠隔監視装置にて携帯電話やPCなどの携帯端末に発報
- 運転状態も情報端末で見られる為、いつでもどこでも装置稼働状況の確認が可能
- 装置の運転・停止や警報リセットも遠隔操作可

機種と仕様

区分	方式	機種	排水処理槽寸法	処理量	対象排水	材質
回分式	全自動方式	MA-1000 NO70128	φ1,240×2,450H	1,000L/回	濁度・鉛・BOD	SUS304

詳細ご説明をご希望の方はFAX06-6386-7038までご送信をお願いします

貴社名	御所属	お名前
電話番号	FAX	その他
ご要望		



株式会社増澤技研
MASUZAWA GIKEN

〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-13
TEL : 06-6386-7048 FAX : 06-6386-7038
web : <http://www.atss.co.jp> 担当: 岡出(おかで)